

## 行田シニアが フレッシュマン大会で初優勝

11月29日、行田リトルシニアの選手14人が市役所を訪れ、リトルシニア関東連盟北関東支部のフレッシュマン大会で初優勝したことを工藤市長に報告しました。

同大会にはチームに所属する中学1年生のみで臨み、抜群のチームワークで優勝を勝ち取りました。行田野球史に新たな一歩を刻んだ選手らは「全国に行田の名を轟かすことができるよう今後も頑張っていきたい」と意気込みを語っていました。



## 親子で力を合わせて

11月23日、古代蓮の里北側駐車場周辺で、第3回いのちを守る森づくり親子植樹祭が行われました。

前日から降り続いた雨も植樹にあわせたようにぴたりとやみ、絶好の植樹日和となったこの日。260人の親子が、宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導の下、シラカシやアラカシなど37種類2,232本の苗木を植樹しました。参加した親子らは緩くなった土壌に足を取られながらも、「大きく育て」と願いを込めて、力を合わせて作業しました。

## 1本のたすきをつなぐ駅伝競走大会

11月28日、総合公園およびその周辺を会場に第54回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が開催され、市内外から101チームが参加しました。

1本のたすきを5人一組でつなぐこの大会。前の走者から熱い思いと一緒に、たすきを託された選手は、「任せとけ」と言わんばかりに、先行するチームに追いつこうと勢いよく駆け出していました。



## 入館者50万人を達成した古代蓮会館

平成13年4月22日にオープンした古代蓮会館で12月12日、古代蓮会館入館50万人達成記念セレモニーが行われました。

記念すべき50万人目の入館者となったのは小針在住の矢口藤一さん。矢口さんには、50万人目の認定書や古代蓮会館オリジナルグッズ、こぜにちゃんとフラベエのぬいぐるみなどの記念品が工藤市長から手渡されました。矢口さんは「私の自宅は古代蓮の里の目と鼻の先で、いつも園内を散歩しています。古代蓮会館にも何度も来ていて、50万人目という記念の入館者となれて驚きましたし、うれしいです」と話していました。